

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 開戸センター
	所在地	あきる野市湊上 322 番地 1
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係（内線） 2 6 3 2
指定管理者	名 称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川 6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外（植木等のせん定を含む。）、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページ URL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html
指 定 期 間		平成 2 5 年 4 月 1 日～平成 3 0 年 3 月 3 1 日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
開館等日数（日）	244	247	264		
延べ利用者数 通所（人）	3,332	2,962	3,119		
前年度比（人）		△370	157		
前年度比（%）		88.9	105.3		
延べ利用者数 自主事業（人）	431	1,052	2,125		
前年度比（人）		621	1,073		
前年度比（%）		244.1	202.0		
利用料金 通所（千円）	3,083	2,518	2,719		
前年度比（千円）		△565	201		
前年度比（%）		81.7	108.0		
利用料金 合計自 自主事業（千円）	328	661	1,250		
前年度比（千円）		333	589		
前年度比（%）		201.5	189.1		

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収 入	指定管理料	13,606	13,160	13,160	
	利用料金収入	3,083	2,518	2,719	
	自主事業収入	328	661	1,250	
	収入計	17,017	16,339	17,129	
支 出	人件費	10,537	10,378	11,688	
	維持管理経費	4,406	4,181	4,236	
	自主事業関係経費	4,284	1,714	1,149	
	その他の支出	0	0	0	
	支出計	19,226	16,273	17,073	
収支(収入-支出)	△2,209	66	56		

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
通所事業については、毎利用日に参加者の様子を観察することにより心身の状況を把握しながら、意見を聞き、要望等を取り入れながら行っています。げんき応援事業では講座終了後にアンケートを実施する事で利用者のニーズに合った講座やサービスを取り入れながら「屈強なあきる野市民を創る」ために日々努力しています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
食事は見た目もよく、安心して信頼もあり食事が楽しみという声がありました。毎日げんき応援事業があることでセンター内の雰囲気良く活気があると好評です。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
今年度は、センターの周知に加え、活動内容の工夫や自己選択のできる沙龙的な活動内容になるようにプログラムを変えて行いました。好きな活動ができるようになったと好評です。またセンターの入り口の雰囲気を良くすることで気軽に入っていただき、自由に見学していただけるようにしました。自分でできることは極力行っていただきながら、高齢になるにつれての体の不安や悩み事などへの相談援助も行い体力測定なども取り入れ、自立した生活が無理なく安全に行えるよう支援しました。 また、昨年に引き続き夏ボラや職場体験、インターンシップの受入れを行い、地域に密着した事業を展開しました。次年度も様々な工夫で満足していただけるセンターを目指します。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
週末や年末年始などはコンセントからプラグを抜く、不要な電気は消す等、節電を心掛けました。コピー用紙も内容に応じて裏紙を使用したり、活動の内容もエコ手芸を取り入れたりリメイク活動をするなど工夫をしました。設備では業者と協議することで費用を抑えるなどして維持管理費を削減することができました。今後も継続して行っていきます。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
通所事業の利用者の利用だけでなく、一般市民の方々がセンターに来ていただけるようになったことは、高齢者在宅サービスセンターの役割や存在を知っていただく上で大きな進歩だったと実感しています。今後は異世代交流なども取り入れながら、地域に密着したセンターを目指します。 げんき応援事業も企画を工夫することや価格設定などにより、たくさんの一般の方の利用が増えてきています。今後も引き続き市民の皆様に喜んでいただけるセンターを目指します。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
<p>地域に開かれたセンターとして、通所事業、自主事業ともに活動内容に工夫が見られます。また継続的にボランティアの受入れも実施できており、今後の活動が更に多様化することを期待しています。</p> <p>また、げんき応援事業の利用者も昨年度に比べ、増加しています。今後も引き続き啓発・広報活動を実施し、利用者の増に努めてください。</p>	
経費削減の取組	
<p>職員の意識付けだけでなく、活動内容にもエコ意識を高める取組が進められています。施設管理においても、法人全体で経費削減に取り組んでおり評価できます。</p>	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
<p>通所事業・自主事業ともに、地域に密着したセンターとして多様な活動が提供できています。今後も引き続き啓発・広報活動を実施し、収支バランスの適正化に努めてください。</p>	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。